

かんばん方式部品集荷ピッキング導入事例

かんばん方式DPSの紹介

～ 弊社の経験値で具体的なデジタルピッキングシステム紹介！～

業 種	製 造 業 (かんばん方式でのピッキングに活用)
取 り 扱 い 商 材	部 品 : ボルト・ナット・電材

ご提案

■ デジタルピッキング活用現場画像



デジタルピッキング導入の背景

【 お客様集品作業概要 】

社内組立製品の生産部品集荷払出作業

集 品 方 法	作業員が、 1種類 の組立製品のカンバン（製品カード：型番）を取り 対象の部品構成表を持って集品現場に入り 対象部品を 都度目検品しながら 集品。
アイテム数	約450
集 品 量	組立製品 20台 / 1日（1製品の構成部品数 平均75個）
集品対象物	ボルト・ナット、各種電材
作業人数	2名

デジタルピッキング導入の効果

- ご採用いただいた表示器は、有線表示器 TK-811です。
1色1釘の3桁表示で前面が高輝度で光るボタン式の表示器です。

採用された有線表示機



TK-811
(1色1釘:3桁表示)

効果1 集品方法

1回の集品作業で2種類の集品を行えるようになりました。

効果2 集品方法

対象の部品構成表を持ち歩く必要がなくなりました。（集品は表示器に従い作業するだけ！）

効果3 集品方法

集品の際、都度構成表と照合する必要がなくなりました。（集品は表示器に従い作業するだけ！）

効果4 作業人員

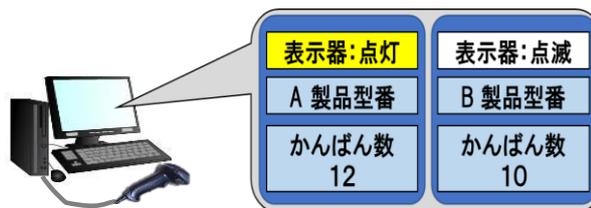
1名

効果 全 体

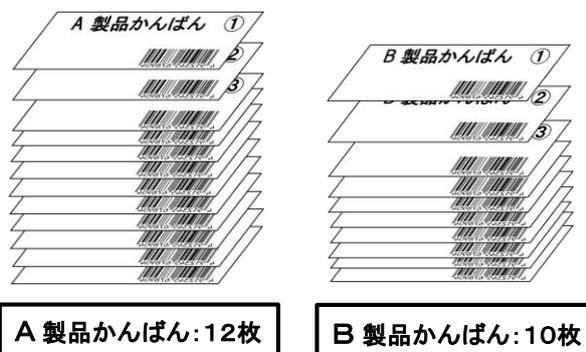
デジタルピッキング化する事で・作業効率向上・正確性の向上・コストの低下・誰でもすぐに集品作業ができる作業の標準化が実現した。

かんばん方式DPS運用イメージ

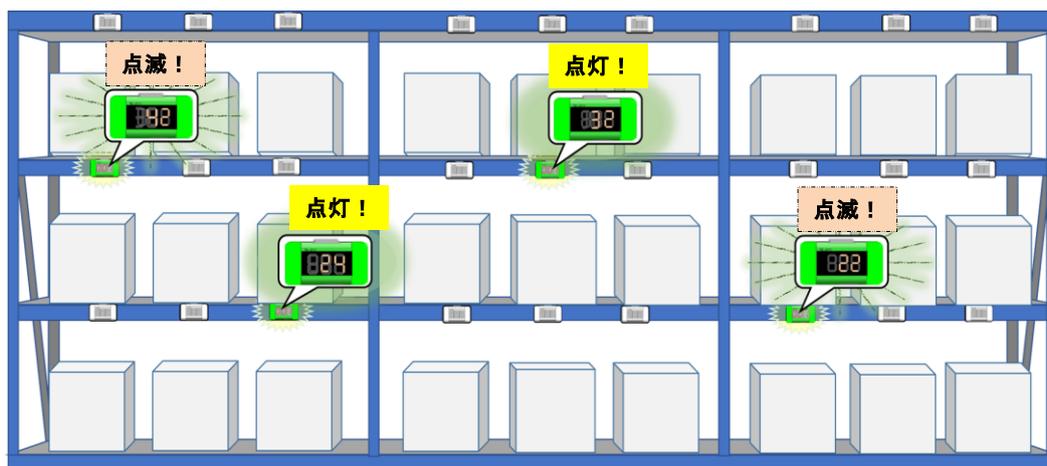
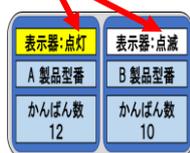
- ① DPSアプリ仕分画面から、お客様の基幹システムから指示された組立製品別の看板情報(製品型番とかんばん数)が表示される。



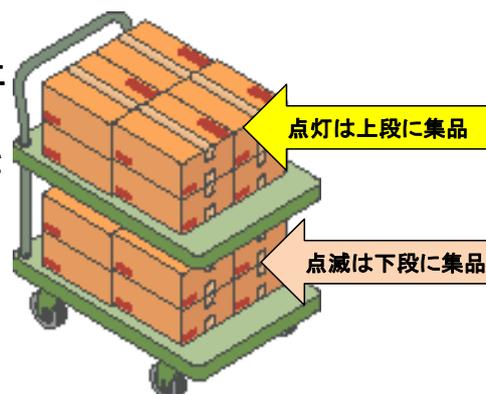
- ② ①で指示された製品型番のかんばんを指示された枚数用意しスキャンします。すると間口に設置した表示器に集品数が表示されます。



- ③ 表示器の光り方は、①でDPSアプリ画面に表示されたかんばん情報に指示された光り方をいたします。



- ④ 表示器の指示数通りに部品を取り表示器ボタンを押消灯させます。
※同じ間口に集品対象が重なった場合は、順番に表示します。
例: 点灯の間口から集荷しボタンを押す、すると点滅が始まり、点滅の集品作業を行う。



- ⑤ 製品別の最後の部品を取り、ボタンを押すと表示器に「End」が表示され、バッチの終了を作業者にお知らせいたします。

